

# 平成18年度下甌・鹿島地域ふれあい市民会議

## 答 弁 要 旨

と き 平成18年9月29日（金）10：30～12：30

ところ 長浜地区コミュニティセンター

出席者 市：市長，

総務部長，企画政策部長，産業経済部長，建設部長，  
消防局長，教育部長，危機管理監

市政広報官，環境課長，コミュニティ課長，

広報室長，広聴広報グループ長，広聴広報グループ員

市議：尾崎嗣徳議員，大毛次生議員，江口是彦議員

地域：下甌地域・鹿島地域地区各自治会長をはじめとする  
地区住民約50名

### 議題1 （下甌地域・子岳地区コミュニティ協議会） 甌島航路に対する行政の指導・要望について

①フェリーに際し乗り継ぎバスがない。シーホークは料金の負担が大きい。シーホークをフェリー料金同等額まで値下げ改定できないか。

②シーホークは，料金が高いうえに乗船時間が長く，フェリーより遅く串木野港に到着する。効率的な運航体制に変更すべきだ。

③繁盛期の整理券は下甌の割り当てが少ない。発行枚数を甌島商船は検討するべき。

④甌島では高校進学時に島を離れるため，親の負担と子供たちの不安は大きい。週末気軽に帰れるよう現在よりも割引率が高くできないか。

#### 【産業経済部長】

① 子岳地区からは長浜港へ途中乗り継ぎを要し，全ての便に対応していない。

現在のバス事業の状況ではバスや人員が間に合わないため，ご理解いただきたい。

また甌航路の料金は原油高騰の煽りを受け経営が厳しく，会社としても致し方なく料金を値上げしている。ただし高速船シーホークについては，据え置きである。

甌島商船の現在の運賃は国土交通省の基準よりも低く，赤字となっても国の補助は受けられないことから，シーホーク料金の値下げについては困難である。

なお，本年度から70歳以上の本市住民に対し，年間4,000円分の公共交通利用補助

券を交付している。市内を走るバス，肥薩おれんじ鉄道，甑島商船にも利用できるの  
で活用いただきたい。

② 各港寄港のシーホークの場合2時間以上要し，フェリーの長浜港・串木野新港  
直行便の所要時間1時間40分より長い状況である。

今後，各港の利用状況・利用者の意見等調査し，より効率的な運行体制が図られる  
よう甑島商船と協議していきたい。

③ 甑島商船に確認したところ，整理券は定員オーバー防止のため各港の利用率か  
ら算出した枚数を，各港に割り当てているとのことである。

繁盛期の整理券の配布は，他の地区からも要望があることから，利用者の立場に立  
ったシステムの構築が出来ないか，甑島商船と協議していきたい。

④ 高校生の甑島商船の利用は学校長発行の証明書の提示で2割引が可能である。

## 議題2 (下甑地域・子岳地区コミュニティ協議会)

### 高校生を持つ家庭への補助について

高校進学時の子どもの離島により，高校生・大学生を持つ家庭は二重・三重生活に  
苦勞している。このため，少子化の傾向にあり，また人口流出にもなる。高校在学中  
の住居や生活費，交通等に対する補助ができないか。

<交通費については議題1にあるので割愛>

#### 【教育部長】

現在，高校在学の生徒等に対して奨学資金制度により希望者に対して貸付等を行って  
いる。奨学資金貸付は月額10,000円で，貸家・寮等から通学する者は月額13,000円の  
加算，甑島地域の中学校の卒業生は月額7,000円の加算があり，最高月額30,000円の  
貸付をしている。貸付金利は無利子で他の奨学資金を受けていない場合に貸付ができる。

特別奨学金は月5,000円が支給され，返済の必要はない。

平成18年度は甑島地域からの申し込みはなかったが，今後活用していただきたい。

#### 【市長】

市議会の藺牟田瀬戸架橋建設で質問があった。子供が川内まで通学できる環境が整え  
られるのではないか。

## 議題3 (下甑地域・手打地区コミュニティ協議会)

### 台風時における緊急避難施設の整備について

甌島は台風の常襲地で避難施設は必要不可欠である。

避難所「へき地保健福祉館」は建設後27年が過ぎ、安心して避難できる状態ではない。今ある施設を補強することで速やかに避難できるので、早急な避難施設の整備をお願いする。

#### 【危機管理監】

現在手打地区では、「へき地保健福祉館」「住民生活センター」「手打小学校」「手打地区コミュニティセンター」「生涯学習センター」の5箇所を避難所としている。

避難所は、建物が頑丈で、危険箇所・被害想定区域外であるところを指定している。

へき地保健福祉館は旧下甌村から避難所としており、地域振興課と協議し豪雨の場合の避難所としている。窓ガラスを強化ガラス、雨戸などに整備する計画は、他に避難所があることから今のところない。

台風は、進路方向、強さ、強風域、暴風域に入るなどの予想が立てられることから、安全な生涯学習センター等へ早めに避難してもらいたい。

高齢者等で避難が困難な方は、避難所まで職員、消防団に搬送を要請してもらいたい。

今後は自主防災組織を立ち上げ、災害時要援護者については、誰が誰を運ぶなどのマニュアルも作成し、早めの避難に心がけてもらいたい。

#### 質 疑

生涯学習センターに避難ということであるが、高齢者にとって遠くて避難は困難である。何とか整備していただきたい。

#### 【市長】

強化ガラスを入れたらどの程度の補強になるか、工事費はいくらかかるか検討したい。

#### 議題4 (下甌地域・手打地区コミュニティ協議会)

##### 定期船の運賃是正について

定期船の運賃は、フェリーとシーホークの往復の差額は3,220円となり、住民の経済的負担も重い。

経済的負担の軽減及び島内への観光客増大を図るうえからも甌島商船及び関係機関に対し運賃の格差の是正を望む。

#### 【産業経済部長】

甌航路の料金は、原油高騰の煽りを受け経営が厳しい状況にあり、会社としても致し方なく値上げを9月1日から行っている。

しかしながら、シーホークの料金はこれまでの利用者からの声を参考に据え置きとされており、運賃格差は若干ではあるが是正されている。

また、甌島商船の現在の運賃は、国土交通省の定める基準よりも低く設定しており、赤字となっても国の補助は受けられない状況であることから、シーホーク料金の値下げについては困難であると考えている。

#### 質 疑

国土交通省に安くするほうの基準はあるのか。

#### 【産業経済部長】

特に安くするほうの基準はないが、国土交通省の定める基準より安く、補助が受けられない。今、補助がない中精一杯安くしているという意味である。

#### 質 疑

シーホークの料金が高いため、下甌から乗る人は少ない。運賃の是正を希望する。

#### 【市長】

旧4村が出資して、薩摩川内市が株主になっている甌島商船、親会社の九州商船に現状と強い要望があったことを伝える。

#### 質 疑

合併後、入札が本庁に移ったので利用者が減ったのではないか。

#### 【建設部長長】

入札は入札契約適正化法等により、談合防止などのため合併した旧町村は一括して本庁で行っている。

それぞれで行うということは現時点で考えていない。

#### 【市長】

入札の回数は限られている。台風等で便数が変わるということもある。入札が減ったから減ったということは大きな影響が出たとは考えていない。入札の公平性を保つため、本庁一括としている。毎日のように職員が往来しカバーする努力をしている。

**議題5 (下甌地域・西山地区コミュニティ協議会)**

**瀬々野浦漁港整備について**

沖防波堤の一部が前後に比べ低く、台風や冬季の波浪時は波が越えて危険である。漁船が安心して係留できるように整備をお願いしたい。

**【産業経済部長】**

要望箇所の防波堤は、昭和59年度から平成5年度に整備した箇所約60mで、現在の設計基準で整備された箇所より天端高が2.3～2.5m低い。

設計基準は、台風、地震等の自然災害の発生などで逐次見直されるが、基準が変わる度に整備を行うことは、整備計画及び財政上の問題から難しい。

このような状況ではあるが、安全で安心して利用できる漁港整備を目指しており、要望箇所は支所とも連携し、台風や冬場の季節風の越波等を見ながら検討したい。

**議題6 (下甌地域・西山地区コミュニティ協議会)**

**県道整備について**

下甌島の東側は県道手打藺牟田港線が通っているが、西側に至っては手打集落から片野浦集落までと、自衛隊基地周辺一部でとぎれている。

早急に西回りに県道を整備してもらいたい。

**【建設部長】**

下甌島では東側の県道手打藺牟田港線を整備中である。本路線は2本のトンネル(手打、青瀬)や瀬尾大橋など大型構造物の建設を伴い、膨大な事業費となっている。

また、県は今年度から藺牟田瀬戸架橋建設に着手し、早期完成を目指し重点的に取り組んでいる状況にあって、当面東側ルート(甌島縦貫道)を最優先で整備する方針であり、現時点での西側の整備計画はないと聞いている。

厳しい県の財政状況もあり、東側ルートの進捗状況を見ながら、県に対して整備要望を行ないたい。

9月議会では大毛議員より西部1・2号線といった西回りの道路整備の質問があり、答弁したとおり(6月議会で鷺山議員より関連質問)、西側の県道等は住民生活にとって大切なライフラインであり、観光道路としても必要ということは十分認識している。

しかしながら、全線改良は事業費が非常に大きくなり財政的にも難しいが、旧下甌村時代から急カーブ等の拡幅等、危険箇所の改修をしてきており、当面は法面崩土等危険箇所の整備、側溝整備や退避所等の設置等を、支所と協議しながら対応する。

**議題7 (下甌地域・青瀬地区コミュニティ協議会)**  
**瀬尾観音三滝公園の整備について**

瀬尾集落には「瀬尾観音三滝公園」があり、そこに名所瀑布「観音三滝」がある。季節には夜間にライトアップし滝の荘厳さを浮かび上がらせ観光客を魅了しているが遊歩道に設置してある8個の灯籠の根元が腐食し、配線がむき出しになり、明かりが灯らないものもある。

早急に改良し、観光資源を有効活用し観光の振興を推進していただきたい。

**【産業経済部長】**

ライトアップ事業は平成12年度からスタートし、ゴールデンウィーク、夏休み及び正月の間、観光客や市民が自然を楽しむ空間として利用するため、夜間に点灯している。

灯籠設置事業は、滝を夜間に見に来る人のために平成元年度に8個設置している。

全ての灯籠が塩害により腐食が進み、接触不良等をおこし、点灯できなくなっている。

夜間の見学者は、1日当たりお盆時期にピーク時で40人程度、また夏休み期間中等は平均20人程度である。

現在、県道の整備が進んでいることから同公園とのアクセスが一層よくなり、訪れる観光客や市民は多くなるものと予想している。

瀬尾観音三滝公園は重要な観光資源であり、観光客や市民の皆さんが夜間に安心して観光できることは、大事なことである。

灯籠の改修も検討するが、青瀬地区コミュニティ協議会や指定管理者とも連携し、灯籠に代わり市販のちょうちんを吊り下げながらの優雅な景観づくりを検討したい。

**質 疑**

ちょうちんも結構だが、電気が来ないことにはちょうちんも点かないのではないか。3つ滝があり、2番、3番目の滝まで見に来るが、1番目の滝まで来ないので、なんとか道を整備したい。

**【産業経済部長】**

電気も含めて支所と協議して検討したい。川内地域のちょうちんも電線を延ばして使っている。

滝についても知名度の問題だと思うが、検討したい。

**【市長】**

灯籠も見苦しいので撤去しようという話も来たが、百数十万円かかるようだ。夏の間だけコードを延長してどうかと話をしている。

**議題 8 (下甌地域・青瀬地区コミュニティ協議会)**  
**防火水槽の設置について**

青瀬地区の防火水槽は、青瀬集落に 2 箇所、瀬尾集落に 1 箇所設置されているが、これでは十分な消防水利が確保できず、非常時の万全な対応は不可能と思われる。

早急に防火水槽の設置をお願いする。

<答弁は議題 9 と併せて行う。>

**議題 9 (下甌地域・長浜地区コミュニティ協議会)**  
**防火水槽の設置について**

城の頭地区と芦浜地区の中央部分に防火水槽の設置を要望する。

**【消防局長】**

甌島地域、特に下甌地域は急峻な山の麓の低地に住宅が密集しており、一旦火災が発生すれば大火になる危険性があることは十分に認識している。

防火水槽の設置要望地は、青瀬の宝海寺付近、瀬尾の瀬尾寺付近と聞いているが、本市では防火水槽を年に 4 基建設しており、周囲の住宅の状況、水利の状況等を考慮して優先順位をつけている。全体の優先順位の中で検討していきたい。

これとは別に、甌島で国の基準の 30 パーセントの規模のものを特定事業ふるさとおこし振興事業を適用し、毎年 1 基ずつできないか協議している。

**【市長】**

今後は道路の整備を少し遅らせて、防火水槽を早く設置することも消防局と検討しなければならないだろう。

**議題 10 (下甌地域・長浜地区コミュニティ協議会)**  
**災害危険地域の工事の早期着工について**

甌島敬老園の上方の急傾斜地域では、亀裂が入り崩壊の危険があり、シートで補強しています。

災害を事前に防止するため、早期着工をお願いします。

**【産業経済部長】**

甌島敬老園の裏山は過去に崩壊し、法面保護工事を実施したが、昨年の台風 14 号

により再び崩壊したため、県営県単治山事業で法面保護工事を予定していた。

本年6月15日の豪雨で敬老園隣の裏山が崩壊したため、付近の裏山を全面的に調査した結果、崩壊した箇所の外に崩壊の恐れのある危険箇所が確認された。

これらを全面的に整備するため、一般公共治山事業（国庫補助）に変更し、本年度の予算は、崩壊した2ヶ所の不安定土砂の取除きと、法面を応急的に保護するとしている。

現在、平成19年度からの国庫補助事業による治山事業の準備として、関係地権者の承諾書を取り纏めている。

### 議題11 （下甑地域・内川内地区コミュニティ協議会） 内川内集落道の整備について

内川内は、人口は59名、うち65歳以上が44名を占める地区である。近年救急車で運ばれたり、足腰が弱り思うように歩けない人が増えている。坂や階段等が多い立地条件から人命救助には不利であり、タンカで運ぶにも道が狭く時間がかかる。

ストレッチャー等を使用できるような集落道の整備をぜひお願いしたい。

#### 【建設部長】

当地区は、山の中腹にあり地形的に急な斜面に住家が点在している。また、日常の生活に利用する集落道は、階段や坂道等が多く、健常者でも大変である。

救急車に搭載のストレッチャー等を使用できるように、急勾配の階段を平にすると、一層勾配がきつくなりストレッチャー等の移動が危険であるとの消防局の指摘がある。

このことから、今後、内川内地区コミュニティ協議会や消防局等の関係者と現地調査し、現在の集落道を活かす形で、当面老朽化した箇所の補修等の整備を検討する。

ストレッチャー等を自由に使用できるような集落道の整備は、検討課題としたい。

### 議題12 （下甑地域・内川内地区コミュニティ協議会） 内川内ダムの排水用側溝の改善について

ダムからの排水は、梅雨や台風時には、大量に水が溢れ、近くの里道及び市道に流れ出し、がけ崩れ等の被害を引き起こしている。

側溝を、水の流れに添った向きに変えていただくよう検討していただきたい。

#### 【建設部長】

内川内ダムは平成15年に治山事業で整備された施設であり、この時に側溝などの整備も行った。



ご指摘の箇所は、水の流れる方向を変えるために設置した溜柵の鋼製蓋から水が吹き出して、市道及び里道に流れご迷惑をかけている。

この溜柵の鋼製蓋の部分から水が吹き出すため、鋼製蓋をコンクリート蓋に取り替えたいと考えている。そして、その後の状況を見て対応する。

#### 質 疑

コンクリートで蓋をしていただくのはありがたいが、この側溝に落ち葉とかが流れてくるので、取り外し可能な蓋にして欲しい。

#### 【建設部長】

コンクリート蓋に変えたとき、落ち葉が詰まったのが見えにくくなる。ゴミを止めるスクリーンを上流に作るなど工夫していきたい。

#### 議題 1 3 (鹿島地区コミュニティ協議会)

##### 清掃後のゴミの処分方法について

毎月、第3日曜日に各自治会の主催で清掃活動を行っているが、網、ロープ、ビン、缶などが回収される。特に空缶、ビン類などは洗って出せないの、燃えないゴミの時にまとめて出すと、処理業者が収集せずに残る。また、海岸等に流れ着いたプラスチック類や特に「浮球」は、いつの処理日に出してよいのか、誰が処分するのか。

雑木や雑草の処分地がなく少量の場合は枯れさせてから燃えるゴミの日処理しているが、地区全体で作業する場合は大変な量になるので処分地を指定するなど、何か良い策はないか。

#### 【環境課長】

ボランティア清掃によるゴミの処理は、極力分別をおこなっていただき、資源化できる空き缶、ビン類は洗浄し資源化の協力をお願いする。資源化できない場合は、各支所にボランティアゴミ袋を置いてあるので、「燃やせるゴミ」と「燃やせないゴミ」に分けてそれぞれの収集日にステーションで排出いただきたい。

海岸等への漂着ゴミは、一般公共海岸区域の管理者である県へ海岸の環境保全への積極的な措置を講じるよう県市長会で要請したが、明確な方針は示されていない。

海岸漂着ゴミのプラスチック類で、やわらかいプラスチックは「燃やせるゴミ」へ、浮球のような硬いプラスチックは「燃やせないゴミ」で排出いただきたい。

雑木や雑草は、本土地域でも処分地を設けておらず、クリーンセンターで焼却処理している。甌地域ではこれまで最終処分場での処分をしていたが、昨年8月で搬入を

停止したので、本土地域同様クリーンセンターへの搬入をお願いします。

雑木は長さ30cm以内、直径10cm以内で排出いただきたい

#### 質 疑

甌地域全体の問題だと思うが、韓国、中国から流れ着くビンもあり、莫大な量である。リサイクルもできない。ボランティアの負担も大きいので、何か良い方法を。

#### 【環境課長】

ボランティア袋に入ったものについては、收拾するように業者と話がついている。リサイクルの分別はしていただきたいが、できないのであれば無理せずにボランティア袋をお願いしたい。その場合でも燃えるゴミと燃えないゴミには分けていただきたい。

#### 【産業経済部長】

海岸に打ち寄せられるゴミは、本土の西方、唐浜にも多い。国にも要望しているが予算がないということで、私どもでやっている。7月22日の大雨で海に流れた流木も漁船等の航行の邪魔になることから、国に対し早急な対応を要望している。海岸の清掃には離島再生・支援交付金事業があるので支所とよく相談して、利用の検討をいただきたい。

#### 質 疑

海岸だけでなく、河川も上流まで流木が流れている。どうしたらいいか？  
海岸で焼いたら駄目なのか？

#### 【建設部長】

河川の流木について、川の流れを阻害しているようであれば、支所まで連絡いただきたい。調査し、状況を検討したい。

#### 【環境課長】

海岸での焼却について、廃棄物処理および清掃に関する法律でみだりに焼却することは禁ずるという条項がある。ただ、震災・災害時の処理で公共対策で必要な焼却はできるとあるので、災害時は管理者と協議をしていただきたい。

#### 議題14 (鹿島地区コミュニティ協議会)

大雨時における集落内の冠水災害の解消について

平成16年の台風21号、平成17年の台風14号の接近に伴い、大潮と満潮が重なった時間帯に、支所付近の住宅が床上及び床下浸水の被害を受けている。

冠水の被害を最小限に防げるような対策（例えば土のうの準備・配備・消防団等との連携）について万全を期していただきたい。

#### 【危機管理監】

6月・7月に土のう250袋を砂詰し、小学校横に20袋、防火水槽横に10袋、郵便局に60袋を配備し、残り160袋は旧消防詰所に備蓄している。

今回の9月10日の集中豪雨時には、消防団、支所職員が協力し、床下浸水の恐れのある住宅など3棟に配備してある土のう100袋を活用し、土のう積みの対策を実施したところである。また、甌地域各支所に土のう袋を1,000枚配付し、鹿島・下甌各支所には2,000枚備蓄している。

今後は砂詰した土のう袋を各箇所に配備し集中豪雨時の災害対策に万全を期したい。

#### 【建設部長】

冠水対策のために、内水解析業務を発注している。鹿島の藺牟田地区にはゲートポンプと呼ばれる排水施設がある。冠水したときにポンプをどれだけ動かせばいいか、排水路が機能しているか等の検討を行い、抜本的な方針が示せるよう検討中である。

#### 議題15 (鹿島地区コミュニティ協議会) 青壮年の出会いの場に関する助成について

鹿島地域の就学前の子供は8名で、うち地元出身者の子供は半数の4名である。この現状では、小中学校の存続が危ぶまれる深刻な問題である。

出会いの場を甌島振興協議会等で企画し実施できないか、またこのような出会いの場に数多く参加できるような助成措置ができないか。

#### 【企画政策部長】

出会いの場を甌島振興協議会等で企画し実施できないかは、それぞれの地域で特色あるやり方がある。

出会いの企画・実施は、行政主導でなく地元漁業青年部や商工会青年部等が中心となり、真剣に取り組む必要がある。

甌島では過去に、旧里村で平成2年に観光宣伝対策として「里に恋い恋い」という本土の女性約70名と地元青年等の交流を行ったが、カップルは誕生しなかった。旧下甌村では、平成6年から平成11年の6年間「こしき「こいこい」物語」を実施し、延べで本土の女性約230名と地元青年等約200名の交流を行った。結果は、3組がうまくい

ったが、内2名の地元男性は地元を離れて女性のところに行った。この事業では、6年間で村から11,312,000円（うち4,000,000円は長寿社会ソフト事業交付金を充当）の補助金を支出している。旧鹿島村では、平成15年度に体験型イベントツアーを企画し、本土の女性20名と地元青年等20名の交流を行うと共に、鹿島の観光PRも行った。結果は、1組のカップルも誕生しなかった。

#### 【市長】

最近の若い女性は、お見合いパーティを開いても参加しないそうだ。いろんなイベントを行ったり、ボランティアなどでカップルを誕生させるという話を聞いている。

そういうやり方を検討するとうまくいくのではないか。

#### 議題16 （鹿島地区コミュニティ協議会）

##### バス路線の廃止について

岩崎グループの廃止路線が発表され、串木野新港関係の5路線が入っており、島民の不安が募るばかりである。

いずれも鹿児島市内・川内方面・串木野駅から甕島航路へのアクセスとして島民が利用している重要な路線である。

関係のいちき串木野市と連携提携し代替バス運行を検討していただきたい。

#### 【産業経済部長】

いわさきコーポレーションの路線廃止問題は、本年4月の発表以来県を始めとする関係機関と検討・協議を進め、現在はほぼ方針が固まっている状況である。

串木野新港関係5系統は、次のとおりの方針で調整中であり、鹿児島市、鹿児島空港方面には、他の路線バス等に乗換えが必要であるが、甕島商船利用者の串木野新港からの移動手段は確保できると思われる。

①錦江町・川内営業所線（串木野新港経由）、②鹿児島駅・串木野新港線（急行）、③鹿児島空港・串木野新港線、④串木野・串木野新港線の4路線は、いちき串木野市で代替バスを運用すると聞いている。⑤川内営業所・串木野新港線は事業者のほうでシャトルバスを運行する予定である。

現在、甕航路のダイヤの全てには接続していないので、今回の見直しで全ての時間で接続を行い、今以上の利便性の向上に努める。

**議題17 (鹿島地区コミュニティ協議会)**

**天候不順による鹿島港の抜港に伴う対応について**

フェリーの下り便が悪天候により鹿島港に着岸できない事態が多く発生している。この場合、長浜港で路線バスを40分間程度待ち定期バスで鹿島町に戻ることになる。港の静穏度を保つための抜本改修について早期実現の要請とバス代負担の軽減を要望する。

**【産業経済部長】**

「フェリーこしき」と「シーホーク」が接岸する鹿島港の岸壁は、県が管理する第2種漁港の藺牟田漁港であり、現在、静穏度確保のための防波堤や波除堤の整備並びに護岸、用地等の整備が実施されている。本事業は平成14年度から23年度までの計画で実施されており、平成17年度末の進捗率は34%である。

「フェリーこしき」が接岸する岸壁の静穏度確保は、沖防波堤200mと波除堤100mが計画されており、本事業の早期完成に向けた要望を県に対し実施してきている。

今後も、早期完成に努めていただくよう、県に対し、引き続き要望していく。

バス代の直接負担は、運賃の額設定など公営企業会計に基づき運行されており困難だが、70歳以上の本市住民に対し公共交通利用補助券を交付している。市内を走る全てのバスに利用できるもので、活用いただきたい。

**質 疑**

市道・林道の危機管理について。下甌の林道は利用もできない。お金がないといわれるが、地震があればそれではすまない。林道・市道は市民の生活道路である。また、ゴミ処理の職員が体を悪くした。職員の健康管理についても伺いたい。

**【市長】**

市民の生活道路であるので、整備しなければならない。具体的に、昼から見たいと考えているので、後ほど教えていただきたい。

お話にあったゴミ処理の職員について、公務災害であればしかるべき対応を取る。職員の健康管理は健康診断、公害予防など十分気をつけている。

**質 疑**

甌島商船には運賃、ダイヤなどで非常に不公平を受けている。下甌は軽視されているのではないか。また、下甌は高レベル放射性廃棄物の適地として挙げられたが、受け入れないでいただきたい。

**【市長】**

甌島商船の問題は、先の議題にもあった。甌島商船に申し入れを行う。

放射線廃棄物の問題について、全国には55基の原子力発電所があり、薩摩川内市には2基ある。これから出てくる使用済み燃料は95パーセントは再び燃料になるが、残りはどこかにガラスで固めて地下300mに捨てることになるが、甌島は薩摩川内市の宝の島なので要望しない。

**質 疑**

シーホークの運賃を3,000円に下げてはどうかという提案をさせていただきたい。